

令和4年度 鶴崎地区自治会連合会からの要望項目一覧(県知事)

項目番号	タイトル	
1	鶴崎駅の無人化反対について(※)	鶴崎全体 継続
2	鶴崎駅周辺整備に伴う駅施設の整備について(※)	鶴崎全体 新規
3	JR日豊本線寺司踏切の立体交差化について(※)	鶴崎全体 新規
4	主要地方道大分臼杵線の改良及び周辺道路網の整備について(※)	鶴崎全体 継続
5	県道22号の側溝の蓋かけについて	三佐 継続
6	大分自動車道松岡PAのスマートIC化と取り付け道路の整備について(※)	松岡・明治 継続
7	県道鶴崎大南線の4車線化の促進について(※)	松岡 継続
8	宮谷川の改修工事の早期完成、大谷川の雨水排水ポンプ場の設置について(※)	川添 継続
9	県道川添志村線の鶴崎橋東交差点改良について	川添 継続

(※) は市及び県に要望

校区名	鶴崎全体	新規・ 継続	担当課	交通対策
件名	鶴崎駅の無人化反対について(※)			
内容	<p>一日の平均利用者が3,000人を超え、特急の停車駅でもある鶴崎駅を無人化することは、駅利用者への影響が大きい。</p> <p>また、鶴崎地区として、地域の再生・活性化に向け、鶴崎駅前広場の再整備を市に要望している中において、駅の無人化は容認できるものではない。</p> <p>引き続き、JR九州及び関係機関に対して撤回するようこれまで以上に強く要望していただきたい。</p> <div data-bbox="280 869 1337 1908" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【R4回答】</p> <p>県内の鉄道路線は、通勤・通学等の日常生活や観光等の経済活動において重要な役割を果たしています。</p> <p>他方、公共交通機関の利用者は、少子高齢化の進展や近年の人口減少により一貫して減少し続けていることに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出や移動自粛、在宅勤務の普及等の生活様式の変容により、急激に減少しました。</p> <p>このため、JR九州の鉄道旅客運賃収入はコロナ禍前よりも減少しており、路線の維持・充実を図ることが難しくなっている状況と聞いています。</p> <p>以上のような状況もあり、スマートサポートステーションの導入等による駅の無人化は、鉄道事業が厳しくなる中で路線維持を行うための経営努力の一環であると受け止めています。</p> <p>しかしながら、公共交通機関としての役割を担っている以上、JR九州は住民のニーズを踏まえることが必要であり、県としてもJR九州に対して、安全性や利便性について、住民の声に耳を傾けながら、丁寧な対応をするよう求めてきたところです。</p> <p>引き続き、鉄道路線の安全性・利便性の向上のため、JR九州に対して、ご要望の内容を含めた県民ニーズをしっかりと伝えていく所存です。</p> </div>			

校区名	鶴崎全体	新規・継続	種別	交通対策
-----	------	-------	----	------

件名	鶴崎駅周辺整備に伴う駅施設の整備について(※)			
----	-------------------------	--	--	--

内容	<p>現在、大分市において鶴崎駅周辺整備事業基本構想が策定され、鶴崎駅周辺整備が進められている。</p> <p>については、この鶴崎駅周辺整備事業とともに整備が必要と考える、鶴崎駅舎・駐輪場・南北の連絡通路等の整備について、大分市と連携し、JR九州に強く働きかけていただきたい。</p>			
----	---	--	--	--

【R4回答】

鶴崎駅については、平成30年度までに駅舎のバリアフリー化工事が完了しており、駅利用者の利便性が向上されています。

また、駐輪場や南北の連絡通路等を含めた駅周辺の利便性の向上については、地域振興を考える上でも重要な課題であると考えています。

県としましても、地域住民の皆様からいただいた声について、大分市と連携を図りながら九州地域鉄道整備促進協議会や日豊本線高速・複線化大分県期成同盟の活動を通じて、さらなる駅舎の整備も含め要望として引き続きJR九州に対して伝えていく所存です。

校区名	鶴崎全体	新規・継続	種別	交通対策・防災
-----	------	-------	----	---------

件名	JR日豊本線寺司踏切の立体交差化について(※)
----	-------------------------

内容	<p>国道197号と県道22号線とをつなぐ市道鶴崎・三佐線上に位置する当該踏切は、朝晩のラッシュ時はもとより、恒常的な渋滞が発生している。</p> <p>なお、緊急車両も頻繁に通行することから、日常生活や経済活動だけでなく、寺司踏切の渋滞は人命にかかわる問題となっている。</p> <p>そのため、寺司踏切による渋滞の解消に向け、大分市と連携し、JR九州に対して、立体交差化を強く働きかけていただきたい。</p>
----	--

【R4回答】

寺司踏切の渋滞対策については、通行する車両の利便性や安全対策の観点からも重要な課題であると考えております。しかしながら、寺司踏切は市道にあたるため、大分市が改修の判断をした上で事業化することになります。

校区名	鶴崎全体	新規	継続	種別	道路整備
-----	------	----	----	----	------

件名	主要地方道大分臼杵線の改良及び周辺道路網の整備について(※)
----	--------------------------------

内容	<p>主要地方道大分臼杵線、都市計画道路庄の原佐野線に関して、宗麟大橋から明野南交差点までの計画は示されているが、それ以东の道路整備計画が整っていない。</p> <p>明野南交差点から明野東交差点は、上り2車線下り1車線となっており、明野東交差点から金の手交差点、さらに川添橋までの間は、上下1車線となっていることから、交通渋滞が日中において慢性化している。</p> <p>特に猪野交差点においては、交差点内の路面表示変更が検討されているとのことだが、明野東交差点から金の手交差点間の渋滞解消のため、植樹帯を撤去するなどの手法を取り入れてでも、まず上り2車線化を実現し、早期に4車線化(上下2車線)を行うよう要望する。</p> <p>さらには、猪野交差点及び金の手交差点では、朝夕の渋滞が日常化しているだけでなく、災害時は、渋滞により避難が困難になるほど影響が大きく、その影響は川添橋までに及んでいる。現状を解消するためにも、高田橋の架け替えや4車線化(上下2車線)を行うなど、鶴崎地区などの大分市東部方面の住民等が直面している災害時の避難路をはじめ、通勤・通学の際に支障がないよう、明野南交差点から川添橋間の道路拡幅計画を早急に立案していただきたい。</p>
----	--

【R4回答】

明野南交差点から川添橋間の4車線化については、県と市で協力して周辺の道路ネットワーク整備を推進することで、交通の流れが変わり、渋滞の改善に繋がっていくと考えています。

まずは、現在事業中の国道197号鶴崎拡幅や市道皆春鶴崎線、市道猪野森町線の早期完成に努め、道路ネットワーク整備の進捗状況や周辺交通の変化を見ながら継続して検討したいと考えています。

校区名	三佐校区	新規・ 継続	種別	道路整備
-----	------	---------------	----	------

件名	県道22号の側溝の蓋かけについて
----	------------------

内容	<p>県道22号は交通量が多く、自転車は歩道を通行しているので、歩行者は、歩道が狭く通学路でもあり危険である。</p> <p>現在の歩道は、ヨシ等の雑草があり、側溝に落ちると危険である。又、会社が駐車場や物置として利用している状況である。</p> <p>については、歩道を広く利用できるよう、早急に側溝に蓋をかけていただきたい。</p> <p>隣接地権者の協力体制の状況や占有者への対応について説明をしていただきたい。</p>
----	---

【R4回答】

要望のあった箇所は、令和2年度より水路上を駐車場や物置として利用している占有者に対し改善要求を行い、おおむねの理解を得ながら、一部では既に改善されています。引き続き撤去指導を行い、全ての専有物の解消を図ります。

また占有物の無い区間については、一部で側溝の老朽化等が認められることから、今後官民境界の復元と側溝の健全度調査等を行った上で、隣接地権者との合意形成を図りながら、最善な改善工法を検討していきます。

校区名	松岡・明治校区	新規・ 継続	種別	道路整備
-----	---------	---------------	----	------

件名 大分自動車道松岡PAのスマートIC化と取り付け道路の整備について

内容

昨年度は、大分市において取り付け道路の概略検討が実施されている。スマートIC化により、周辺道路の交通量が増加し、ドーム周辺や松岡校区内で新たな交通渋滞が発生する恐れがある。

松岡PAのスマートIC化の整備について、国、NEXCOに強く要望するとともに、取り付け道路、周辺道路の整備について、市と連携し、早期に実現していただきたい。

【R4回答】

令和2年度、「県都大分市交通円滑化検討会」において、東九州自動車道松岡PAのスマートIC化を目指す基本方針が取りまとめられました。松岡PAのスマートIC化により、交通の分散が図れるとともに、イベント時の混雑の緩和が期待できることも確認しています。

昨年度は、大分市において取り付け道路の概略検討を実施しており、国との協議を開始したところです。今後は県と市が連携しながら、国、NEXCO等関係機関との協議を行う予定です。

県としては、市の事業化に向けた取組をしっかりと支援してまいります。

校区名	松岡校区	新規・ 継続	種別	道路整備
-----	------	---------------	----	------

件名	県道鶴崎大南線の4車線化の促進について(※)
----	------------------------

内容	<p>今年4月、署名を添えて、松岡校区の要望書を提出した。 4車線化は、沿線の交通渋滞の解消のみならず、松岡校区の安全・安心のまちづくりに欠くことが出来ない。 県道鶴崎大南線の毛井工区の早期完成と、松岡小学校から京が丘入口交差点間の4車線化の早期実現を強く要望する。</p>
----	---

【R4回答】
 毛井工区については、今年度用地を取得し、工事を発注しました。早期完成に向け取り組んでまいります。
 松岡小学校～京が丘団地入り口交差点については、今年度は事業化に向けての都市計画変更手続きや測量設計を進めています。今後も地元とも連携を図りながら取り組んで参ります。

校区名	川添校区	新規・ 継続	種別	防災
-----	------	---------------	----	----

件名 宮谷川の改修工事の早期完成、大谷川の雨水排水ポンプ場の設置について(※)

内容

平成29年の台風18号では、金谷交差点の道路冠水や宮谷地区の床上浸水など大きな被害が生じ、あわや人命にかかわる重大な災害になるところであり、今年も台風14号により、金谷交差点が道路冠水し、避難する住民の妨げになるなどの影響を及ぼした。

また、近年の線状降水帯の影響は想定を超えるものがあり、一昨年7月には、県内で河川の氾濫が発生した状況もあり、このような住民不安や地域事情をご推察いただき、宮谷川の改修工事並びに大谷川の遊水地整備の早期完成を国に強く要望していただきたい。

さらに、ポンプ場設置に関する基準の見直しも国等へ強く働きかけ、早期に設置するなど浸水対策を講じていただきたい。

【R4回答】

宮谷川については昨年度までに、国土交通省施工の宮谷樋門改築工事と併せて実施した大野川との合流点周辺の河川付替工事が概ね完了したところです。現在は、県道坂ノ市中戸次線から上流の河川改修工事を進めており、今年度は橋梁や護岸工事を進めていきます。

大谷川については、平成30年度に、現況河川の拡幅が完了し、現在は遊水地の整備を実施しており、今年度中に完成する予定です。

浸水対策については、施設整備等ハード対策とハザードマップ作成等のソフト対策を組み合わせた対応を、国・県・市と連携して行っていく必要があると考えています。

校区名	川添校区	新規・ 継続	種別	道路整備
-----	------	---------------	----	------

件名 県道川添志村線の鶴崎橋東交差点改良について

内容

県道川添志村線と国道197号が交差する鶴崎橋東交差点は、川添から志村方向にかけて渋滞が著しい。

朝晩は、右左折の一方のレーンが混んでいるため、他方のレーンが空いていても近づけない状況が生じているので、信号機能の変更や右左折レーンの延伸といった改良を、現状確認を行ったうえで、効果が上がるような方法で、鶴崎橋東交差点の整備を行っていただきたい。

【R4回答】

川添志村線については、交通量に対し青信号の時間が短いうえ、大型車の通行が多く、ピーク時には1回の青信号の間に左折レーン内の車両全てがはけきれない状況であることから、レーンを延ばしたとしても効果は低いと考えられます。

国道197号鶴崎拡幅の整備により渋滞解消を図ることができることから、事業の早期完成に努めます。